



発行責任者
校長 初村 一郎

【校長室より】

『卒業』

卒業の「卒」には「終わる、終える」という意味のほかに、「突然に」という意味があります。何だかんだ言っても、あつという間の高校3年間。「突然に」卒業式が訪れたような気分じゃないでしょうか。もっとあれをしておけばよかった、これをしてあげればよかった、そんな困惑と後悔があるかもしれません。その思いはこれからの新生活の中に生かしてほしいと思います。

卒業後は、多くの人が一人暮らしを始め、開放感とホームシックを交互に味わいながら大人になっていきます。アルバイトや就職等、働いてお金を得ることの大変さと大切さを知り、親の苦勞を身に染みて感じるものです。

私も学生時代は、母親と二人暮らしということもあって、奨学金とアルバイトで生計を立てていました。教育学部でしたので家庭教師をするのはもちろんのことですが、思い出深きは4年間修業を積んだミスド！週1～2回、夜9時から朝8時まで、今考えると過酷なアルバイトだったと思いますが、若さ故なせる技。今やったら倒れます。1年目はセールス（販売）、2年目以降はベーカリー（製造）として働きました。セールスでは、様々なお客さんと出会い、自分の価値観が変化していく様子を実感できました。ベーカリーとしては、今はどうかわかりませんが、当時は完全ハンドメイドでしたので、修業に次ぐ修行。厨房で職人氣質を味わいながら、フレンチクルーラーやオールドファッションなど汗水たらして作ったドーナツが販売される喜びときたら感無量でした。自分が作ったドーナツを食べてくださる人がいることに幸か不幸か感謝の気持ちでいっぱいでした。夏場はたまに生地をこねながら、本当に汗がポツリと…！もう時効です。

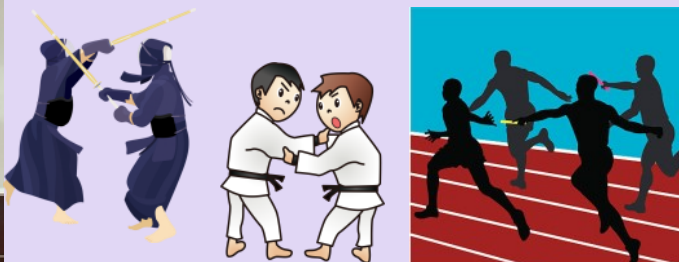
私にとっては盛りだくさんな社会勉強ができたとともに、一生の仲間ができました。今でも当時のミスド仲間とは、年に一度同窓会をしています。

こんな書くと、「あれ、大学の授業は？」と思われがちですが、できるだけ午後から授業がある日の前日にミスドを入れていました。言いわけがましいですが、こう見えても大学の卒業式は学部総代で夕方のニュースにドアップ。チェバ・メネラウス（数学者）を極めました。今は頭空っぽですが…。

人は、読書等で自分の見識を深めるか、人づきあいや経験を通して自分の見識を深めるか、静か動かのどちらか。どちらもこなせるに越したことはないのですが、私自身は動のタイプだったように思います。卒業して、就職・進学それぞれ進む道は違っても、自分の本分以外にプラス1の活動で自分磨きをしながら、素敵な生活を送ってほしいと願います。



スポーツコース 卒業発表会



1月27日(水)に本校軽スポーツ場にてスポーツコース第16期生の卒業発表会を開催しました。生徒14名が4班に分かれ、それぞれが興味を持った分野を研究し、プレゼンテーションを行いました。どの班も工夫を凝らした研究内容で、興味深いものばかりでした。16期生の堂々と発表する姿に3年間の成長ぶりがみられました。今後ますますの活躍を期待します。ご多用の中、多くの方々にご参観いただき、感謝致します。



准看護師資格試験 出陣式 (衛生看護科)

2月15日(月)メモリアルホールにて、准看護師試験「出陣式」を実施しました。生徒を代表して坂田優羽さんが「今まで当たり前であると思っていたことは当たり前ではなかったということに気づかされた1年。病院実習中止など困難なことがたくさんありましたが、その分、感謝のできる1年となりました。感謝の気持ちを忘れず、全員で頑張ってきます。」と決意を表明しました。

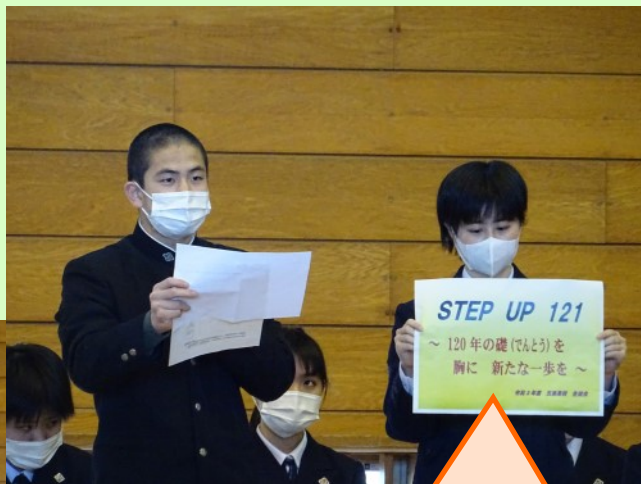
多くの方に見守られながら今日を迎えられたことを感じる感動的な出陣式で、生徒達にとって大きな励みとなりました。

応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



生徒総会・部活動集会

2月16日（火）、生徒総会と部活動集会が行われました。会では来年度の生徒会行事案の提示、各クラスや部活動からの要望の確認、各専門委員会の活動報告が行われました。また、生徒会長からは、来年度、五島高校は創立121周年という新たなステージに入ることから、みんなで学校全体を盛り上げていこうという呼びかけとスローガンの紹介がありました。



『Step up 121』

～120年の礎(でんとう)を
胸に 新たな一步を～

部活動集会では、柔道部主将の村岡愁真君と吹奏楽部部長の野原輝里さんから、「もう一度、各部の目標を明確にし、今後の大会が開催されることを信じて頑張っていこう。」という決意が述べられ、生徒達は真剣な表情で受け止めていました。



県高校新人駅伝大会に出場して

2月6日にトランスコスモスタジアム長崎で行われた県高校新人駅伝大会に出場しました。緊急事態宣言の影響で競技場が使用できず、メンバーの故障もあって思うような練習が積めないまま本番を迎えました。しかし、当日は短距離ブロックの力も借りてチームの襷をつなぐためメンバー全員が懸命に走りきりました。結果は31チーム中26位と決して満足のいくものではありませんでしたが、この悔しさを晴らすため日々の練習に取り組んでいこうと思います。



陸上部長距離ブロック長 久保愛斗

蓮風について



3月1日発行予定の『蓮風』ですが、諸般の事情により、発行しないことになりました。ご了承ください。

体育祭・文化祭等の写真は、10月23日発行の101号に掲載しております。

また、五島高校のホームページ (<http://www2.news.ed.jp/bunrui/syokai/seikatu/70100topics/107543.html>) でもご覧いただけます。